

日本のボランティアの起源を学ぶ

～ ボランティア連絡協議会の総会・研修会開催 ～



町内の各種ボランティア相互の連絡、連携、交流を図り、地域福祉の向上に貢献することを目的とするボランティア連絡協議会（山田 信雄 会長）の令和元年度総会が、社協会館において開催されました。お互いのボランティア活動を理解するために各グループから昨年度の活動報告や今年度の活動計画を発表されました。さらに、花火大会翌朝の一斉清掃や共同募金活動、ボランティアについての研修会など連絡協議会として一緒に取り組む事業が決定しました。

総会終了後は、日本赤十字社熊本県支部元振興課長で現在、日赤発祥の地・歴史研究会の会員 梶山哲男 氏より赤十字精神や日本での赤十字の歴史などについて講話をいただきました。日本においての赤十字社の起源は明治10年におきた田原坂の戦い（西南戦争）をきっかけとして、人道・博愛の思想のもと敵、味方関係なく戦傷者の救護を行った「博愛社」が前身であり、のちに日本赤十字社と改称され現在に至っており、熊本県が日本においての赤十字社誕生の地になるということでした。

また、日本赤十字社の7つの基本原則についても説明されこの原則にしたがって、災害時などには救護活動をされているということでした。参加されたボランティアからは、「日赤の歴史について、学ぶ機会が今までなかったので勉強になった。」や「熊本県が日本赤十字社の誕生の地ということをはじめで知ることが出来た。」などの感想が寄せられました。

赤十字社7つの基本原則

- 人道**：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平**：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立**：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立**：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕**：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一**：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性**：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

社協ホームページのご案内

社会福祉協議会では、ホームページを開設し、町内で行われている地域福祉活動やボランティアなど福祉事業を掲載しております。「たとえ小さな一歩でも、昨日より確実に前へと進んでいること」が、社協のモットー（合い言葉）です。町民の皆さまのお役に立てるよう今後も、タイムリー（適時）な情報発信を心がけてまいりますので是非とも閲覧ください。

[ホームページアドレス]
<http://taragi-shakyo.or.jp/>

または、**多良木町社協** で検索

スマートフォン・携帯電話からも閲覧できます。



新人職員のご紹介

今回新たに、介護保険事業部門に2名の職員を迎えましたのでご紹介させていただきます。

社会福祉協議会では、新たな職員を迎えこれまで以上に地域の皆さまのお役にたてるよう職員一丸となり頑張っていますのでよろしくお願ひします。



(左) 訪問介護員 宮原 博幸
 (右) 介護支援専門員 林 誠一郎

次の方々から社会福祉のためにとご寄付をいただきました。皆様の温かい善意に感謝申し上げますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。



- 小野 美江 (敬称略・受付順)
- 森山 金見 (故 善祐) 久4区
- 加納 アヤ子 (故 ヤスノ) 久5区
- 横山 ヤス子 (故 幸清) 多10区の2
- 河本 清 (故 秋月) 黒5区
- 岩浪 ミツル (故 千代) 久5区
- 山北 晴美 (故 晴美) 多2区の2
- 加賀 美雪 (故 美雪) 久5区
- 中根 昭子 (故 昭子) 多7区の1
- 中根 昭満 (故 昭満) 多2区の2

